

2024年2月8日

報道関係各位

株式会社 OKB総研

第26回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

OKBグループのシンクタンク株式会社 OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 青木義実)は、
標題のアンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

《要約》

1. 主婦の景況感はやや改善するもいまだ低水準

- ・「悪くなった」が49.3%と前回調査(2022年11月)から11.4ポイント低下した。
- ・景況D.I. (「良くなった」の回答率-「悪くなった」の回答率)は▲43.7と、前回の▲57.7から14.0ポイント上昇した。

2. 引き続きほぼすべての主婦が物価上昇を実感

- ・「高くなった」が97.7%(前回差▲1.0ポイント)となった。
- ・物価D.I. (「高くなった」の回答率-「安くなった」の回答率)は97.4(前回差▲1.2ポイント)となった。

3. 家計収入は「変わらない」が半数以上 「増えた」は2割

- ・「増えた」が19.2%(前回差+6.8ポイント)、「変わらない」が59.8%(同▲5.7ポイント)、「減った」が21.0%(同▲1.2ポイント)となった。

4. レジャー費や外出費の支出D.I.が上昇した一方、保健医療費は低下

5. 保険料や理容・美容費の節約度合いが上昇した一方、外出費は低下

6. 主婦の幸福度は10点満点中6.67点※平均

【調査概要】

1. 調査期間：2023年11月13日～11月17日(年1回)
2. 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店(東京・大阪を除く)に来訪した主婦(注)819名にアンケート用紙を配布・回収(無記名方式)
3. 有効回答者数：791名(有効回答率96.6%)
4. 回答者属性：

年代	20歳代	6.5%	住所	岐阜県	53.7%	就業形態	専業主婦	8.2%
	30歳代	24.0%		愛知県	41.9%		正社員・公務員	41.5%
	40歳代	23.0%		三重県	2.2%		パートタイマー	46.1%
	50歳代	28.7%		滋賀県	2.0%		その他	4.2%
	60歳以上	17.9%		その他	0.3%			

5. 集計結果表記：数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

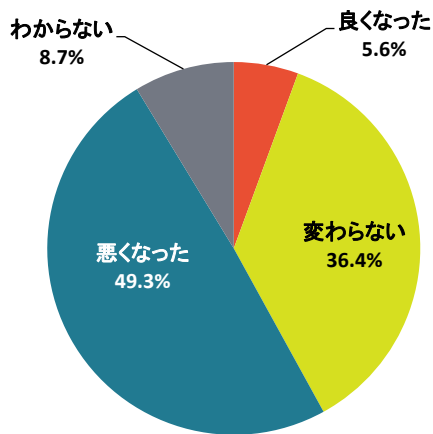
(注)本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい。

資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ
【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 梅木 TEL 0584-74-2615 FAX 0584-74-2688】

1. 主婦の景況感

図表1 主婦の景況感(全体)



「現在（2023年）の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の5.6%、「変わらない」が36.4%、「悪くなった」が49.3%となった（図表1）。「悪くなった」が前回調査（2022年11月）から11.4ポイント低下。また、全ての属性において「悪くなった」の回答率が前回から低下した（図表2）。

景況D.I.（「良くなった」の回答率－「悪くなった」の回答率）は▲43.7と、前回から14.0ポイント上昇した（図表3）。

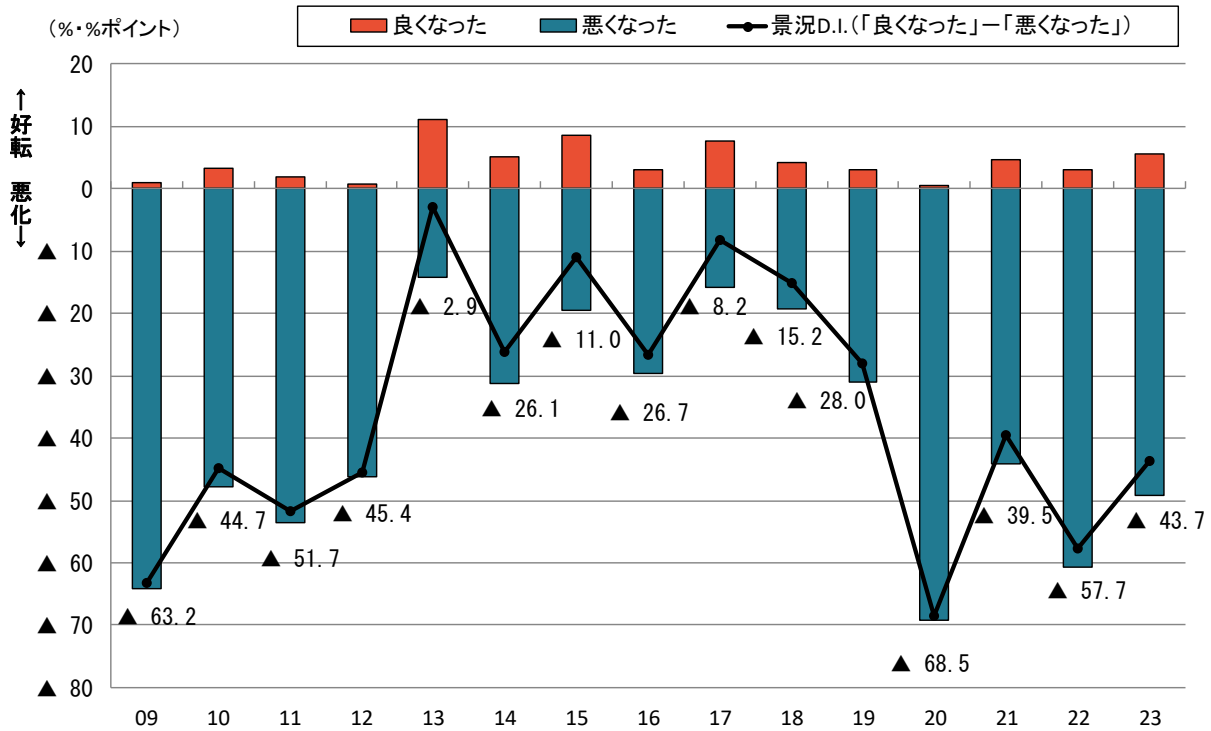
図表2 主婦の景況感(属性別)

(%・%ポイント)

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	5.6 (2.6)	36.4 (7.0)	49.3 (▲11.4)	8.7 (1.8)
20歳代	8.0 (6.1)	38.0 (13.0)	46.0 (▲13.6)	8.0 (▲5.5)
30歳代	5.9 (2.7)	40.3 (4.6)	46.2 (▲8.6)	7.5 (1.1)
40歳代	5.0 (1.9)	39.4 (5.4)	45.6 (▲10.9)	10.0 (3.7)
50歳代	6.3 (3.2)	36.2 (11.3)	49.6 (▲16.3)	8.0 (1.9)
60歳以上	4.3 (1.4)	26.8 (2.2)	58.7 (▲6.5)	10.1 (2.9)
岐阜県	5.5 (1.3)	37.0 (7.9)	49.6 (▲10.5)	7.9 (1.2)
愛知県	6.1 (4.2)	36.7 (7.4)	48.3 (▲13.7)	8.9 (2.1)
専業主婦	3.2 (▲2.1)	31.7 (7.1)	50.8 (▲8.8)	14.3 (3.8)
正社員等	6.3 (2.4)	39.0 (5.8)	49.1 (▲9.1)	5.7 (1.0)
パート	5.6 (4.1)	35.6 (9.0)	48.1 (▲15.5)	10.8 (2.5)

(注)括弧内は、前回差を示す。

図表3 主婦の景況D.I.の推移

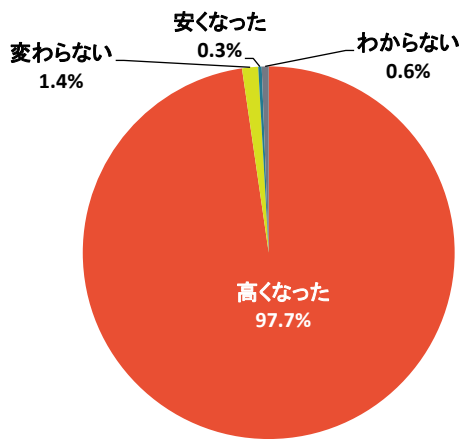


(注)「悪くなった」は負の値で表示している。

(年)

2. 主婦の物価観

図表4 主婦の物価観(全体)



「現在の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の97.7%、「変わらない」が1.4%、「安くなった」が0.3%となった(図表4)。「高くなった」は前回の98.7%からほぼ横ばいだった(図表5)。

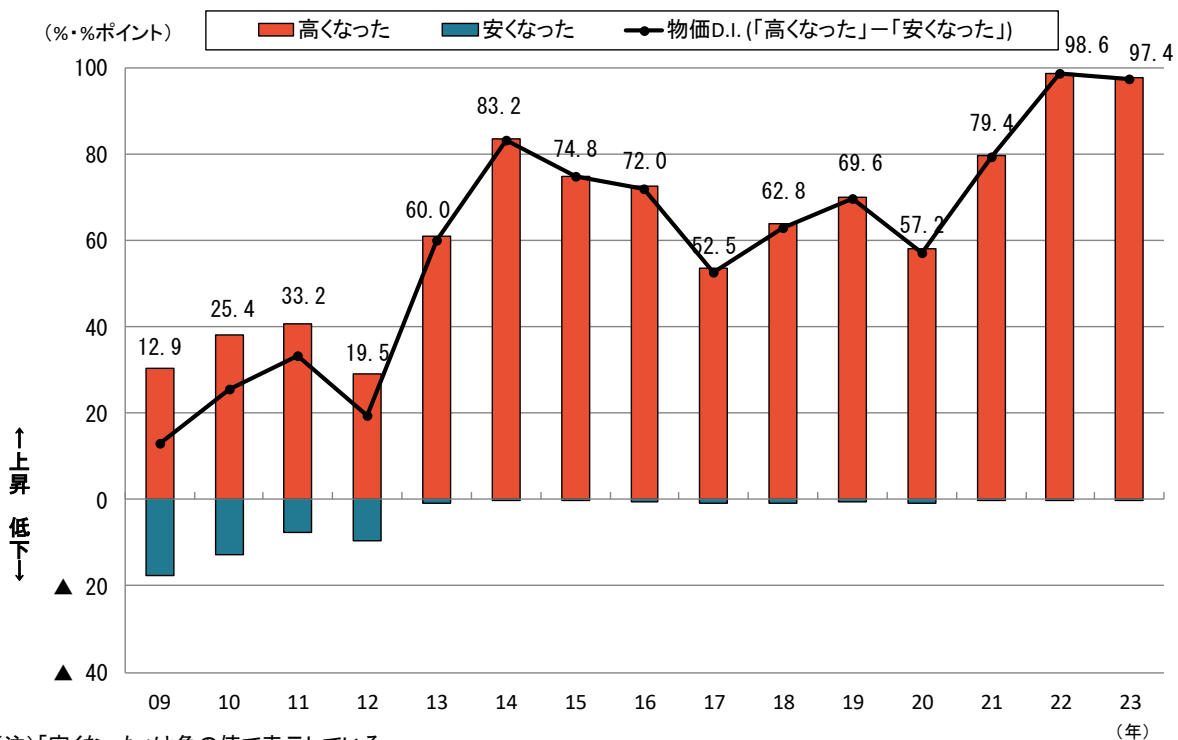
物価D.I. (「高くなった」の回答率-「安くなった」の回答率)は97.4と、前回の98.6からほぼ横ばいだった(図表6)。

図表5 主婦の物価観(属性別)

	(％ポイント)			
	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	97.7 (▲ 1.0)	1.4 (0.8)	0.3 (0.2)	0.6 (0.1)
20歳代	98.0 (▲ 2.0)	2.0 (2.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
30歳代	96.3 (▲ 3.1)	1.6 (1.6)	1.1 (1.1)	1.1 (0.5)
40歳代	98.9 (▲ 0.1)	1.1 (0.6)	0.0 (0.0)	0.0 (▲ 0.5)
50歳代	97.8 (0.4)	0.9 (▲ 0.8)	0.0 (▲ 0.4)	1.3 (0.9)
60歳以上	97.9 (▲ 1.4)	2.1 (2.1)	0.0 (0.0)	0.0 (▲ 0.7)
岐阜県	97.4 (▲ 1.9)	1.4 (0.9)	0.2 (0.2)	0.9 (0.7)
愛知県	97.9 (▲ 0.3)	1.5 (0.6)	0.3 (0.0)	0.3 (▲ 0.3)
専業主婦	96.9 (▲ 1.4)	3.1 (1.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
正社員等	98.1 (▲ 1.1)	1.2 (0.9)	0.3 (0.3)	0.3 (▲ 0.3)
パート	97.2 (▲ 1.0)	1.4 (0.5)	0.3 (0.0)	1.1 (0.5)

(注)括弧内は、前回差を示す。

図表6 主婦の物価D.I.の推移



(注)「安くなった」は負の値で表示している。

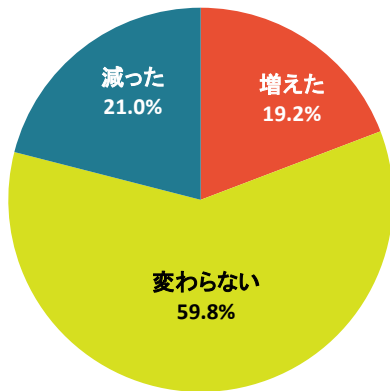
3. 家計について

(1) 家計の収入

「2023年の家計収入は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の19.2%、「変わらない」が59.8%、「減った」が21.0%となった。「増えた」が前回から6.8ポイント上昇した(図表7)。「増えた」と回答した理由としては、昇給や賃上げ、パートの最低賃金の増加、育休からの職場復帰や働く時間の増加などが挙げられた。

属性別に見ると、全ての属性において「増えた」が上昇した。特に20歳代や30歳代の「増えた」の回答率は、他の年代に比べて高くなっている。一方、50歳代と60歳以上は他の年代に比べて「増えた」が低く、「減った」が高くなっている(図表8)。

図表7 家計収入(全体)



図表8 家計収入(属性別)

(%・%ポイント)

	増えた	変わらない	減った
全体	19.2 (6.8)	59.8 (▲ 5.7)	21.0 (▲ 1.2)
20歳代	31.4 (8.3)	56.9 (▲ 12.3)	11.8 (4.1)
30歳代	29.9 (9.0)	54.0 (▲ 3.6)	16.0 (▲ 5.5)
40歳代	21.0 (8.9)	62.4 (▲ 6.5)	16.6 (▲ 2.3)
50歳代	13.8 (5.0)	60.4 (▲ 7.6)	25.8 (2.6)
60歳以上	7.1 (2.1)	63.6 (▲ 1.6)	29.3 (▲ 0.5)
岐阜県	17.1 (5.8)	61.7 (▲ 7.2)	21.2 (1.3)
愛知県	21.5 (8.5)	58.0 (▲ 4.7)	20.5 (▲ 3.9)
専業主婦	14.3 (12.6)	65.1 (3.0)	20.6 (▲ 15.6)
正社員等	22.8 (7.8)	57.7 (▲ 11.5)	19.4 (3.6)
パート	18.7 (6.8)	59.1 (▲ 2.9)	22.3 (▲ 3.8)

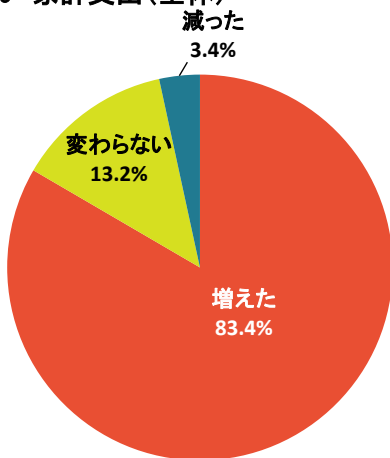
(注)括弧内は、前回差を示す。

(2) 家計の支出

「2023年の家計支出は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の83.4%、「変わらない」が13.2%、「減った」が3.4%となった(図表9)。「増えた」と回答した理由としては、食費や光熱費の増加、物価の上昇が多く挙げられた。

属性別に見ると、全ての属性において「増えた」が7~9割となった。60歳以上や専業主婦に関しては、「増えた」の回答率が比較的低い一方、40歳代は比較的高くなっている(図表10)。

図表9 家計支出(全体)



図表10 家計支出(属性別)

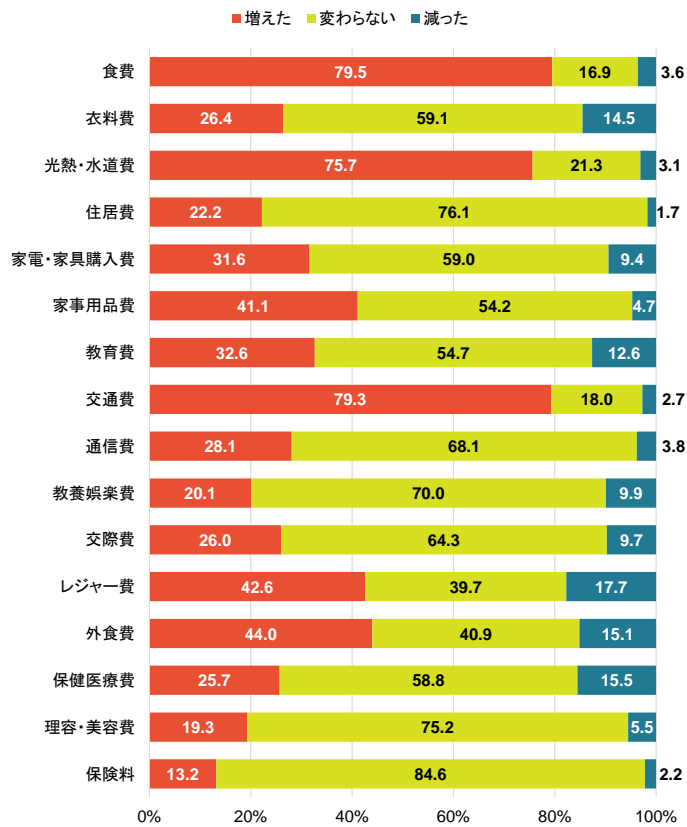
(%・%ポイント)

	増えた	変わらない	減った
全体	83.4 (1.4)	13.2 (▲ 1.2)	3.4 (▲ 0.2)
20歳代	80.4 (▲ 11.9)	17.6 (9.9)	2.0 (2.0)
30歳代	87.2 (3.7)	10.6 (▲ 2.1)	2.1 (▲ 1.7)
40歳代	91.2 (8.0)	7.7 (▲ 5.4)	1.1 (▲ 2.6)
50歳代	81.9 (2.6)	12.8 (▲ 4.4)	5.3 (1.8)
60歳以上	71.4 (▲ 8.0)	22.9 (6.6)	5.7 (1.4)
岐阜県	82.5 (▲ 0.3)	14.2 (▲ 0.5)	3.3 (0.8)
愛知県	85.2 (4.3)	11.2 (▲ 3.0)	3.6 (▲ 1.3)
専業主婦	68.3 (▲ 12.7)	27.0 (13.2)	4.8 (▲ 0.4)
正社員等	86.2 (2.9)	10.5 (▲ 3.4)	3.4 (0.6)
パート	84.7 (4.2)	12.5 (▲ 2.7)	2.8 (▲ 1.5)

(注)括弧内は、前回差を示す。

(3) 家計支出の費目別動向

図表 11 2023 年の費目別支出(全体)

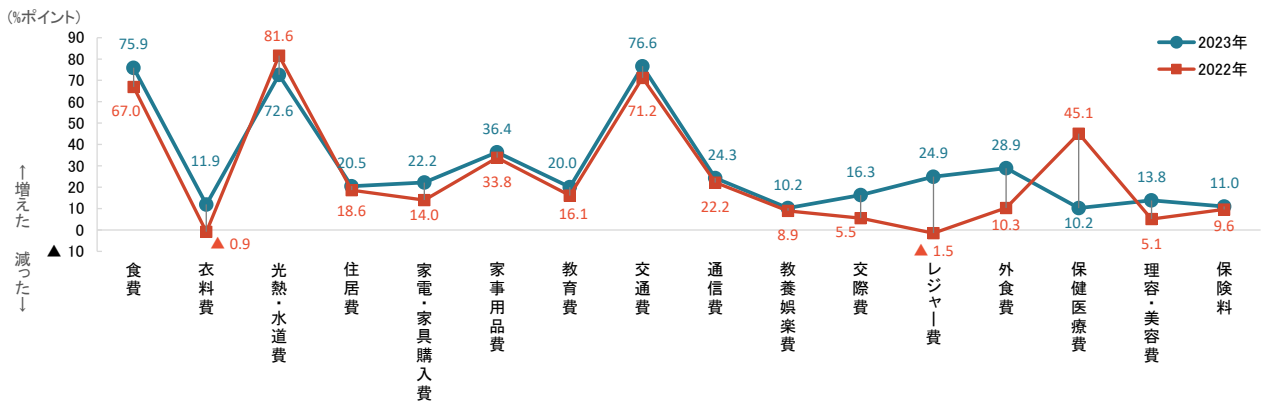


2023年の費目別の家計支出について尋ねたところ、「増えた」が最も高いのは「食費」で79.5%だった(図表11)。

費目別支出D.I. (「増えた」の回答率-「減った」の回答率)を見ると、最も高いのは「交通費(ガソリン代を含む)」で76.6、次いで「食費」が75.9、「光熱・水道費」が72.6となった。前回と比較すると、「レジャー費」は26.4ポイント、「外食費」は18.6ポイント上昇した一方、「保健医療費(マスク・消毒液など含む)」は34.9ポイント低下した(図表12)。

年代別に見ると、「保健医療費」は全ての年代で前回から20ポイント超低下した。「レジャー費」、「外食費」は全ての年代で前回から上昇した一方、D.I.は40歳以上で低くなっており、特に60歳以上は1ケタ台となっている(図表13)。

図表 12 費目別支出 D.I.(全体)



図表 13 費目別支出 D.I.(年代別)

	(ポイント)							
	食費	衣料費	光熱・水道費	住居費	家電・家具購入費	家事用品費	教育費	交通費
全体	75.9 (8.9)	11.9 (12.8)	72.6 (▲9.0)	20.5 (1.9)	22.2 (8.2)	36.4 (2.6)	20.0 (3.9)	76.6 (5.4)
20歳代	86.2 (5.4)	13.7 (7.9)	82.3 (▲0.4)	19.6 (13.8)	22.0 (▲6.8)	41.1 (▲5.1)	11.3 (11.3)	66.7 (▲14.1)
30歳代	82.5 (2.8)	29.2 (14.1)	76.1 (▲10.0)	16.5 (8.2)	16.4 (6.3)	38.1 (▲3.0)	45.6 (3.6)	79.9 (▲4.3)
40歳代	85.0 (13.3)	22.2 (12.2)	77.3 (▲5.9)	16.0 (▲5.5)	19.5 (▲0.1)	46.4 (5.3)	53.7 (13.6)	89.0 (24.7)
50歳代	71.5 (15.8)	0.0 (10.6)	70.2 (▲5.7)	26.9 (2.3)	32.6 (18.5)	35.6 (10.0)	▲10.9 (▲3.6)	73.3 (5.1)
60歳以上	58.0 (▲0.3)	▲7.2 (13.5)	61.3 (▲21.0)	21.9 (1.0)	17.3 (13.7)	19.7 (▲3.9)	▲15.1 (▲7.2)	65.0 (▲1.1)

	(ポイント)							
	通信費	教養娯楽費	交際費	レジャー費	外食費	保健医療費	理容・美容費	保険料
全体	24.3 (2.1)	10.2 (1.3)	16.3 (10.8)	24.9 (26.4)	28.9 (18.6)	10.2 (▲34.9)	13.8 (8.7)	11.0 (1.4)
20歳代	11.8 (2.2)	22.0 (24.0)	36.0 (11.0)	49.0 (6.7)	66.7 (14.8)	11.8 (▲30.6)	19.6 (0.3)	13.7 (▲3.9)
30歳代	17.5 (3.5)	25.6 (▲1.3)	22.0 (9.3)	48.4 (30.6)	51.9 (19.0)	4.8 (▲38.9)	14.2 (5.3)	11.1 (▲1.0)
40歳代	33.7 (0.2)	12.2 (▲7.9)	15.5 (15.5)	23.7 (33.2)	22.6 (13.2)	5.0 (▲42.7)	13.9 (7.6)	10.5 (▲3.1)
50歳代	25.0 (1.2)	1.3 (4.8)	15.2 (14.8)	12.9 (20.8)	23.1 (27.9)	13.8 (▲30.1)	17.4 (15.2)	9.4 (4.1)
60歳以上	23.0 (4.7)	▲4.4 (▲0.7)	5.0 (▲2.2)	7.2 (25.4)	1.4 (5.0)	18.7 (▲25.9)	5.7 (8.5)	13.9 (8.9)

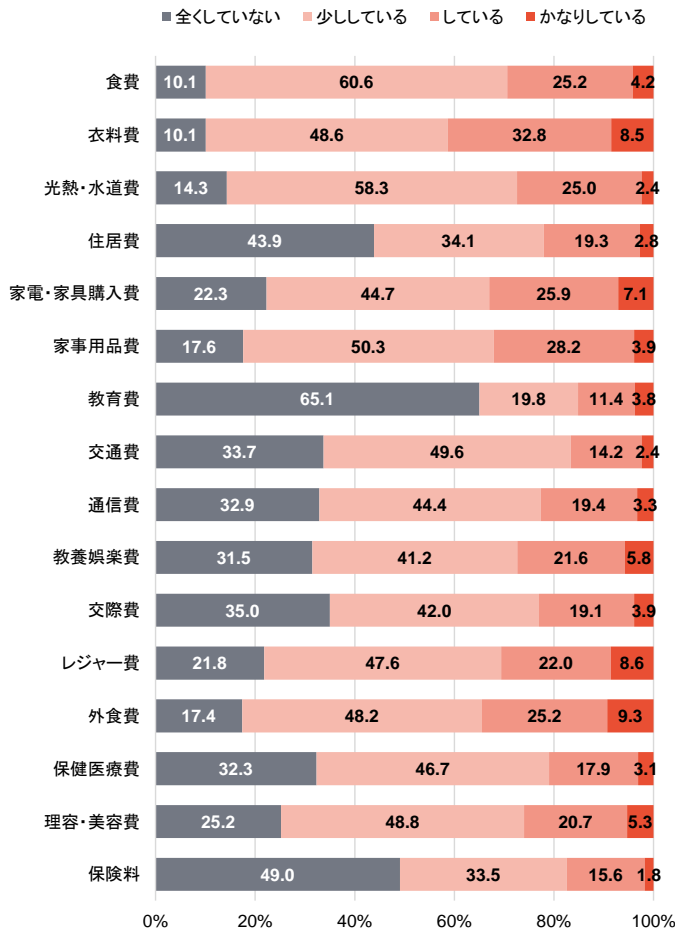
(注1) 括弧内は、前回差を示す。
(注2) 網掛けは、各費目における最大値を示す。
(注3) 太字は、各属性における最大値を示す。

(4) 各費目の節約度合い

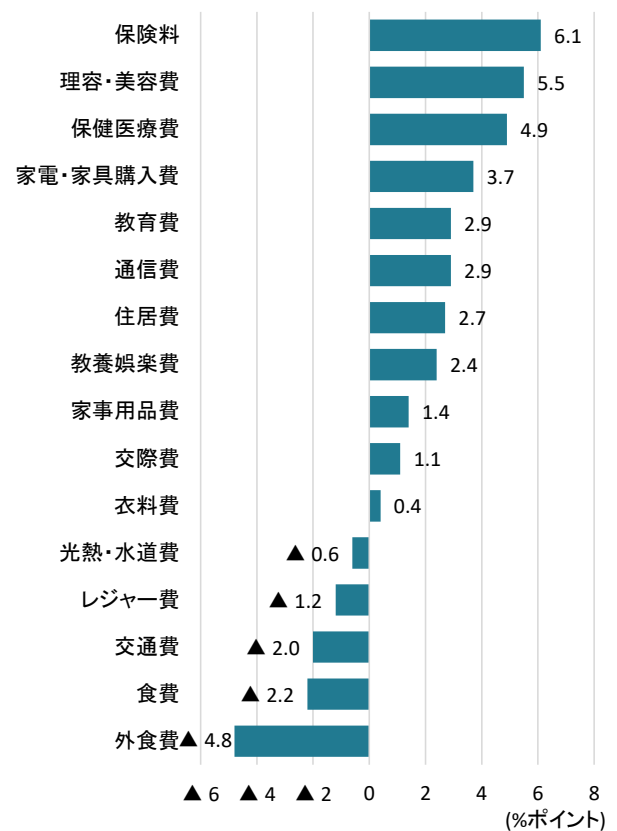
「各費目について、節約の度合いを4段階でお答えください」と尋ねたところ、「少ししている」「している」「かなりしている」を合わせた“節約している”が最も高いのは「食費」で90.0%だった。「全くしていない」が最も高いのは「教育費」で65.1%だった（図表14）。“節約している”の回答割合を前回と比較すると、「保険料」や「美容・美容費」は上昇している一方、「外食費」は低下している（図表15）。

“節約している”を年代別に見ると、20歳代から40歳代は「食費」、50歳代は「衣料費」、60歳以上は「光熱・水道費」が最も高くなった。費目別に年代ごとの“節約している”をみると、最も高い割合は50歳代に集中しており、最も低い割合は20歳代や30歳代に集中している（図表16）。

図表14 各費目の節約度合い(全体)



図表15 “節約している”の前回差(全体)



図表16 “節約している”の割合と前回差(年代別)

費目	割合と前回差(年代別)					
	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
食費	90.0 (▲2.2)	90.2 (▲2.1)	86.8 (▲6.1)	92.2 (1.8)	92.5 (▲2.3)	86.6 (▲2.7)
衣料費	89.9 (0.4)	80.4 (▲0.4)	85.3 (▲4.4)	91.7 (1.8)	94.7 (4.4)	89.3 (▲1.6)
光熱・水道費	85.7 (▲0.6)	82.3 (3.5)	81.5 (▲1.8)	85.1 (▲0.6)	89.0 (0.4)	89.7 (0.9)
住居費	56.2 (2.7)	45.1 (10.5)	40.3 (6.8)	49.0 (▲6.9)	68.3 (5.3)	73.0 (8.7)
家電・家具購入費	77.7 (3.7)	78.5 (7.3)	69.8 (▲0.5)	72.4 (▲0.3)	86.2 (10.2)	80.6 (3.2)
家事用品費	82.4 (1.4)	84.4 (11.3)	75.1 (▲2.3)	80.0 (▲1.8)	89.7 (5.3)	82.7 (2.3)
教育費	35.0 (2.9)	45.5 (16.0)	32.6 (1.5)	32.5 (▲3.4)	36.0 (7.2)	36.4 (2.4)
交通費	66.2 (▲2.0)	60.0 (▲3.5)	59.8 (▲5.0)	62.0 (▲3.2)	75.0 (2.3)	68.2 (▲0.3)
通信費	67.1 (2.9)	54.0 (▲3.7)	65.6 (11.5)	65.4 (2.2)	71.7 (0.1)	67.6 (2.0)
教養娯楽費	68.6 (2.4)	58.0 (11.1)	58.2 (▲1.4)	68.3 (▲0.2)	80.8 (8.6)	65.9 (▲1.6)
交際費	65.0 (1.1)	51.0 (4.9)	58.0 (▲4.0)	63.5 (▲5.5)	73.4 (7.6)	67.1 (5.0)
レジャー費	78.2 (▲1.2)	70.7 (1.5)	68.8 (▲9.4)	80.7 (1.5)	85.4 (3.5)	78.3 (▲1.3)
外食費	82.7 (▲4.8)	84.3 (3.5)	81.5 (▲8.3)	84.5 (▲4.4)	85.8 (▲2.0)	75.8 (▲8.4)
保健医療費	67.7 (4.9)	62.8 (▲2.6)	61.4 (1.8)	67.9 (6.7)	72.8 (4.7)	68.9 (9.7)
美容・美容費	74.8 (5.5)	72.5 (16.8)	74.1 (4.9)	72.9 (1.5)	77.8 (3.8)	73.5 (10.7)
保険料	50.9 (6.1)	49.0 (0.0)	44.9 (7.6)	47.8 (5.3)	54.0 (4.7)	59.0 (13.0)

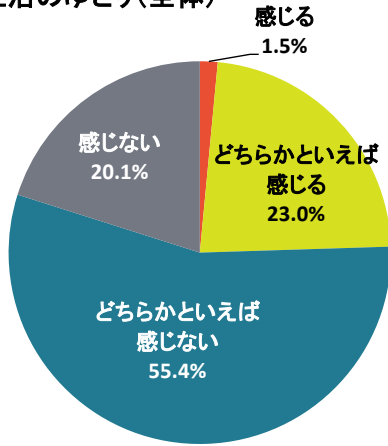
(注1) 括弧内は、前回差を示す。

(注2) ■は各費目における最大値、■は各費目における最小値を示す。

(注3) 太字は、各属性における最大値を示す。

(5) 生活のゆとり

図表 17 生活のゆとり(全体)



「現在の生活にゆとりを感じますか」と尋ねたところ、「感じる」が 1.5%、「どちらかといえば感じる」が 23.0%、「どちらかといえば感じない」が 55.4%、「感じない」が 20.1%となった(図表 17)。「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“ゆとりがない”は 75.5%と、前回の 74.2%からほぼ横ばいだった。

また、“ゆとりがない”が最も高いのは、年代別では 20 歳代で 86.2%、就業形態別ではパートで 81.2%となった(図表 18)。

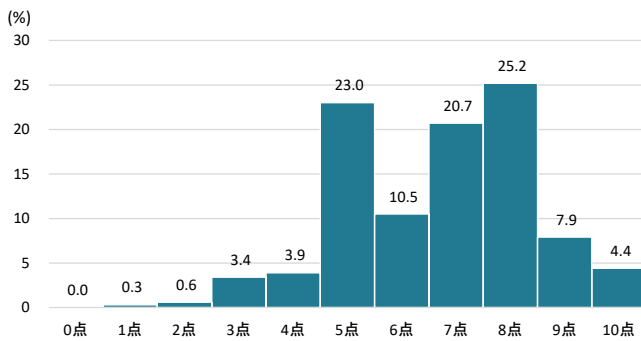
図表 18 生活のゆとり(属性別)

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	ゆとりがない・計
全体	1.5 (0.1)	23.0 (▲ 1.4)	55.4 (▲ 0.4)	20.1 (1.7)	75.5 (1.3)
20歳代	0.0 (0.0)	13.7 (▲ 7.5)	78.4 (11.1)	7.8 (▲ 3.7)	86.2 (7.4)
30歳代	0.5 (▲ 1.4)	27.7 (1.8)	58.5 (2.2)	13.3 (▲ 2.5)	71.8 (▲ 0.3)
40歳代	2.2 (1.2)	21.2 (▲ 1.3)	52.0 (▲ 5.1)	24.6 (5.2)	76.6 (0.1)
50歳代	1.8 (0.5)	20.1 (▲ 3.9)	55.4 (1.3)	22.8 (2.3)	78.2 (3.6)
60歳以上	2.2 (0.0)	26.6 (▲ 0.7)	47.5 (▲ 4.3)	23.7 (5.0)	71.2 (0.7)
岐阜県	1.2 (0.2)	21.7 (▲ 0.8)	54.2 (▲ 3.4)	22.9 (4.0)	77.1 (0.6)
愛知県	2.1 (0.2)	24.3 (▲ 2.6)	57.1 (3.7)	16.4 (▲ 1.5)	73.5 (2.2)
専業主婦	3.2 (1.4)	33.9 (7.6)	46.8 (▲ 11.1)	16.1 (2.1)	62.9 (▲ 9.0)
正社員等	1.2 (▲ 0.5)	27.2 (0.3)	57.1 (1.4)	14.5 (▲ 1.3)	71.6 (0.1)
パート	1.7 (0.5)	17.1 (▲ 4.4)	56.0 (▲ 0.7)	25.2 (4.6)	81.2 (3.9)

(注) 括弧内は、前回差を示す。

(6) 幸福度

図表 19 幸福度(全体)



ふだん、どれくらい幸福だと感じるかについて、0点から10点の11段階で尋ねたところ、最も回答率が高いのは「8点」で 25.2%、次いで「5点」で 23.0%となった(図表 19)。また、平均を算出すると、全体では 6.67 点となった。

年代別に見ると、20 歳代、30 歳代、50 歳代は「8点」、40 歳代と 60 歳以上は「5点」が最も回答率が高くなった。また、平均が最も高いのは 20 歳代で 7.18 点、最も低いのは 60 歳以上で 6.31 点となった(図表 20)。

図表 20 幸福度(属性別)

	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
全体	0.0	0.3	0.6	3.4	3.9	23.0	10.5	20.7	25.2	7.9	4.4	6.67
20歳代	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	13.7	17.6	15.7	35.3	11.8	3.9	7.18
30歳代	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	18.0	9.5	21.2	27.5	11.1	7.4	7.08
40歳代	0.0	0.0	0.0	2.8	5.0	25.0	11.7	23.9	21.1	6.7	3.9	6.58
50歳代	0.0	0.4	1.3	4.9	4.9	21.0	11.2	21.0	25.0	6.7	3.6	6.52
60歳以上	0.0	0.7	1.4	2.9	4.3	34.3	7.1	17.1	24.3	5.7	2.1	6.31
岐阜県	0.0	0.2	0.9	4.3	4.3	25.6	9.2	18.5	26.1	7.8	3.1	6.55
愛知県	0.0	0.3	0.3	2.7	3.6	18.5	12.2	23.7	25.2	7.6	5.8	6.83
専業主婦	0.0	1.6	0.0	4.7	1.6	18.8	14.1	18.8	25.0	9.4	6.3	6.78
正社員等	0.0	0.3	0.6	3.7	3.4	19.5	10.8	21.7	26.9	7.4	5.6	6.79
パート	0.0	0.0	0.8	2.2	4.4	26.1	10.3	20.6	25.0	7.5	3.1	6.60

(注) 青色の網掛けは、各属性における最も回答率の高い項目。

4. 買物について

(1) キャッシュレス決済の利用状況

図表 21 キャッシュレス決済の利用状況(属性別)

	可能な限り すべて	7~8割 程度	現金と半分 ずつくらい	2~3割 程度	現金のみ	7~8割 程度以上・ 計
全体	33.2	25.2	21.4	16.1	4.2	58.4
20歳代	49.0	25.5	19.6	5.9	0.0	74.5
30歳代	45.5	29.6	16.4	7.4	1.1	75.1
40歳代	29.3	28.2	22.1	17.7	2.8	57.5
50歳代	31.0	19.9	23.5	23.5	2.2	50.9
60歳以上	19.9	24.1	24.1	17.0	14.9	44.0
岐阜県	30.9	23.3	19.1	21.5	5.2	54.2
愛知県	36.9	28.1	23.0	9.1	3.0	65.0
専業主婦	23.4	25.0	20.3	12.5	18.8	48.4
正社員等	39.7	27.4	19.1	12.3	1.5	67.1
パート	29.9	24.7	23.5	18.6	3.3	54.6

(注) 青色の網掛けは、各属性における最も回答率の高い項目。

キャッシュレス決済(クレジットカードや電子マネー、スマホ決済など)の利用状況について尋ねたところ、「可能な限りすべてキャッシュレス決済を利用する」が33.2%で最も高くなった。「7~8割程度以上」「可能な限りすべて」と「7~8割程度」を合わせた割合は全体の6割弱を占めた。

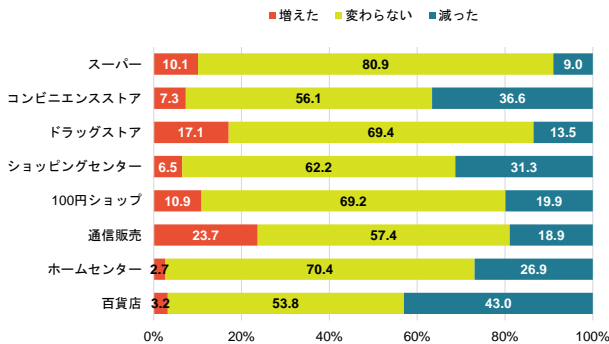
また、「7~8割程度以上」が最も高いのは、年代別では30歳代で75.1%、住所別では愛知県で65.0%、就業形態別では正社員等で67.1%となった(図表21)。

(2) 買物場所の利用回数

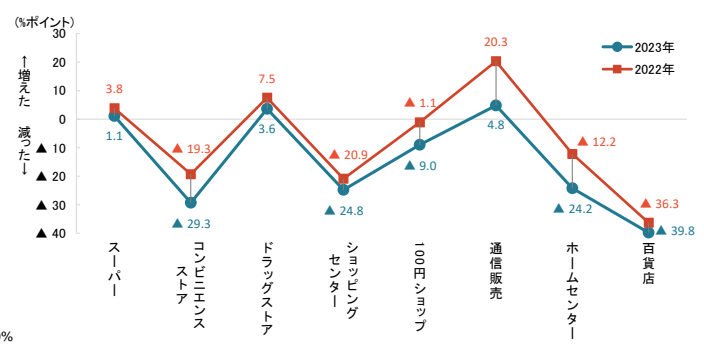
「買物場所8業態について、1年前と比べた利用回数をお答え下さい」と尋ねたところ、いずれの業態も「変わらない」が過半数を占めた。「増えた」の回答率が最も高いのは「通信販売」(23.7%)、「減った」が最も高いのは「百貨店」(43.0%)だった(図表22)。

買物場所の利用回数D.I.(「増えた」の回答率-「減った」の回答率)を前回と比較すると、特に「通信販売」(▲15.5ポイント)や「ホームセンター」(▲12.0ポイント)、「コンビニエンスストア」(▲10.0ポイント)の低下が目立つ(図表23)。

図表 22 買物場所の利用回数(全体)



図表 23 買物場所の利用回数D.I.(全体)



(3) 買物場所の利用頻度

「買物場所8業態について、実際の利用頻度をお答え下さい」と尋ねたところ、「スーパー」は「週2~3回」、「ドラッグストア」は「週1回」、「コンビニエンスストア」「ショッピングセンター」「100円ショップ」「通信販売」は「月1回」、「ホームセンター」は「2~3カ月に1回」、「百貨店」は「ほとんど利用しない」がそれぞれ最も回答率が高かった(図表24)。

図表 24 買物場所の利用頻度(全体)

	ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月1回	2~3カ月に1回	半年に1回	年に1回	ほとんど利用しない
スーパー	10.1 (▲1.6)	49.9 (▲3.2)	36.9 (5.4)	1.9 (▲1.0)	0.6 (0.6)	0.1 (▲0.2)	0.1 (0.0)	0.3 (▲0.1)
コンビニエンスストア	3.0 (▲0.8)	11.6 (▲1.9)	27.6 (▲1.2)	32.1 (2.7)	10.9 (▲0.9)	3.5 (0.2)	0.6 (0.3)	10.8 (1.6)
ドラッグストア	1.0 (▲0.2)	20.3 (1.7)	46.7 (0.6)	27.6 (▲0.9)	3.3 (▲1.0)	0.6 (▲0.2)	0.0 (0.0)	0.4 (▲0.1)
ショッピングセンター	0.6 (▲0.1)	3.3 (▲1.1)	26.2 (3.5)	43.8 (2.8)	18.1 (▲2.1)	4.2 (▲1.1)	1.0 (▲0.7)	2.7 (▲1.4)
100円ショップ	0.0 (0.0)	1.9 (▲0.6)	19.8 (1.3)	48.5 (▲3.0)	20.0 (2.4)	4.7 (0.8)	0.9 (▲0.4)	4.2 (▲0.5)
通信販売	0.6 (0.1)	2.3 (▲0.9)	16.7 (▲0.1)	32.6 (▲3.5)	19.8 (1.0)	7.5 (▲0.9)	4.9 (1.6)	15.6 (2.7)
ホームセンター	0.0 (0.0)	0.4 (0.1)	5.2 (▲2.0)	29.4 (▲6.5)	33.1 (3.8)	16.7 (2.5)	6.0 (2.3)	9.2 (▲0.1)
百貨店	0.1 (0.0)	0.3 (0.0)	1.5 (▲0.1)	10.4 (0.5)	20.7 (2.4)	19.5 (2.2)	10.5 (▲2.4)	37.0 (▲2.6)

(注1) 括弧内は、前回差を示す。

(注2) 網掛けは、各業態における最も回答率の高い項目。

以上